

組合員のみなさまへ

大切な人を守るために、一緒に「安心」を作りましょう。

まずはご相談ください。

きらら保険サービス株式会社 0120-075-900

あぶくま

発行所 全建総連福島 (福島県建設労働組合連合会) 〒969-1302 福島県安達郡大玉村玉井字北ノ内65-1 TEL (0243) 68-2121 FAX (0243) 68-2122 URL http://kensetufukushima.jp E-mail kenren@kensetufukushima.gr.jp

市民を守る組合へ

福島県建設ユニオンが福島市と災害協定締結



締結書を掲げる木幡市長(右)と宍戸執行委員長(左)

7月23日、福島市役所4階の市長応接室で「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定」の締結式が開催され、福島市と福島建設ユニオンが同協定を締結しました。福島市は災害発生時に被災した住宅の応急修理を福島建設ユニオンに要請し、福島建設ユニオン組合員が迅速に応急修理を行うことが同協定に定められました。福島建設ユニオンから宍戸富雄執行委員長、佐藤武四書記長、渡辺克也書記次長、佐藤美穂書記局員の計4人が出席しました。福島市からは、木幡浩市長と建

設課、総務課、危機管理室から計7人が出席しました。また、福島市の建設課や危機管理室と連携し、同協定締結に携わった小松良行福島市議会議員も出席しました。木幡市長からは「東日本大震災以降、全国各地で災害が多く発生しています。福島市でも災害が発生した場合、被災住宅の応急修理の支援を要請し福島建設ユニオンにご協力頂くことや、被災状況の重要な報告を収集できることは大変力強いことです。」と挨拶がありました。

その後、協定書に木幡市長、宍戸執行委員長がそれぞれ2通に署名と捺印をしてお互いに1通を交換し、同協定を締結しました。宍戸執行委員長から「私たちの組合は建設職人の集団です。災害で被災された市民の方々の住まいの応急修理のため、迅速に支援し協力できると考えています。」と発言がありました。福島建設ユニオン組合員の方々は各種会議等で同協定の内容説明とご理解の上、建設職人集団として地域に貢献する組合として歩みます。(福島建設ユニオン 書記長 佐藤武四)



誕生日には励ましの言葉

朝起きて夫に「おはよう」と声をかけ、夕には少しアルコールをたしなみ、夜は静かにゆっくりと眠る。辛い事故だったかもしれないけどみんなが頑張った、そして取り戻すことができたこの生活が「当たり前前の生活なんだ」と日々実感しています。(飯坂 木須孝子)

組織拡大集計表 (2019年7月)

Table with 5 columns: 組合名, 加入者数, 脱退者数, 増減, 合計. Rows include 福島, 飯坂, 二本松, 本宮, 郡山, 富久山, 田村, 須賀川, 白河, 東白川, 会津, 新白河, いわき, 原町, 相馬, 合計.

7月の組織拡大の結果は加入者数56人、脱退者数42人、差し引きで14人の純増となりました。

加入理由の多くは①建設国保加入20人、②適用除外事業所加入14人、③労災加入9人となりました。建設

組合員数は前月比14人の純増 組織拡大期間を成功させよう

国保利用のために加入する方が多くいました。一方、脱退理由の多くは①転業・廃業・仕事不足9人、②適用除外事業所加入7人、③社会保険加入6人となりました。前月、全建総連会津が純増3%を達成し、新白河が残り1人、須賀川・相馬が残り2人と目標に近づいている組合もあります。また、8〜10月は前期組織拡大期間となり各加盟組合が組織拡大に集中的に取り組む期間となります。特に9月は現場の一人親方へ労働安全衛生を確保する巡回指導と併せて、各加盟組合が組織拡大行動を実施します。多くの仲間を組合へ加入させ年間純増3%を達成しましょう。

飯坂 ~妻の手記~ 当たり前をあきらめなかった 大きな労災事故から仕事復帰

夫がケガをしたこと、労災事故となったことを組合へ相談に行きました。

大変な状況だと直感した 飯坂建設組合書記 佐藤 弘樹氏

いつも元気な木須さんの奥様が「夫が屋根から転落事故に遭った」と神妙な面持ちで組合を訪れました。奥様は看護師で普段は忙しいことは知っていたので、奥様が来た時点で大変な状況だと直感しました。ご持参いただいた担当医の診療内容説明書を見て愕然としました。一瞬、仕事復帰はできないのではないかと頭をよぎったほど体の損傷が激しかったのです。それでもあきらめてはいけなと思い、木須さんのためにできることを考えま

した。労災事故と分かったので治療費請求の手続きを進めるため、直ぐに書類作成のお手伝いをさせていただきました。事故とケガの全容を書き入れることは難しかったため、とにかく事故内容を簡潔にまとめるようにしました。

リハビリ生活へ

いわき市で起きた事故だったので夫は最寄りの病院に運ばれ、大動脈損傷による手術等を受けました。骨折については幸いにも綺麗に骨折していたため手術せずに保存療法(人体を傷つけずギプス等で固定し骨がつながるのを待つ療法)という処置がとられました。それから数カ月、私はな

以前の生活を取り戻した

私も仕事を辞めずに働くことができました。リハビリを懸命に続けた夫は、事故以前と変わらずに、今日も元気にサッシ業を営んでいます。

朝起きて夫に「おはよう」と声をかけ、夕には少しアルコールをたしなみ、夜は静かにゆっくりと眠る。辛い事故だったかもしれないけどみんなが頑張った、そして取り戻すことができたこの生活が「当たり前前の生活なんだ」と日々実感しています。



元気に仕事を続ける木須清市さん

平和への願いを込めた 折り鶴と献納水



福島県建設労働組合連合会 御中
お礼状

「〇〇年(令和元年)八月七日
福島県建設労働組合連合会
執行委員長 菅野 正明
事務局長 菅野 正明
事務局 菅野 正明」

「〇〇年(令和元年)八月七日
福島県建設労働組合連合会
執行委員長 菅野 正明
事務局長 菅野 正明
事務局 菅野 正明」

この度、広島県建設労働組合から御礼のお手紙が届きましたので掲載します。戦争の無い平和な世界が今後の続き、人間として文化的な私達の生活が守られることを願います。

緊張感の伝わる選考会



福島建設ユニオン 鈴木 之太 さん



全建総連原町 神 央光 さん

全国青年技能競技大会の 代表選手2名が決定 全国大会は9月21日から

8月25日、大玉村「全建総連福島県連合会」で「第35回全国青年技能競技大会・選手選考会」を開催しました。

選考会は大会と同様に6時間以内で協議課題である「四方転び踏み台」の製図、加工を行い、3人が2つの出場枠を争いました。

選考委員として佐藤新多郎副執行委員長、県連住宅技術対策部から猪狩力部長、渡辺伝部員、菅野正明部員、深谷部員、吉田部員が出席し、小池克己青年部長が応援に駆け付けました。選考の結果、全建総連原町の神央光(じんひさみつ)さん(30歳)、福島建設ユニオンの鈴木之太(すずきゆきひろ)さん(27歳)の二人を全建総連福島の代表に

全建総連福島は毎年8月に広島県建設労働組合と長崎県建設労働組合の2県連へ折鶴と献納水を送っています。

第二次世界大戦時、原子爆弾が投下された2県へ平和の祈りを込めて、各加盟組合の主婦の会を中心に、役員も含め折鶴を折っています。今年は3千羽ずつ折り上げ、2県に送付しました。

選出しました。

猪狩律指導員からは「2人ともしっかりと仕上げているが、まだまだ技術を向上できる。本番も頑張ってください」と総括がありました。

選考後、神さんは「今日作り上げた作品は自分としては0点だった。こんな状態で福島県代表として出場しても良いのか」と自分の実力と福島県代表の立場に葛藤していましたが、佐藤副執行委員長は「今日はこれだけ多くの人が集まり厳正に審査した結果です。福島県代表として全国大会で頑張ってきてほしい」と声をかける場面もあり、神さん

はそれに応えて「頑張ってください」と決意を固めました。

鈴木さんは「間違えた箇所を修正し、本大会も頑張ってください」と話しました。惜しくも落選した選手からは「本選では絶対に入賞してきてください。応援しています」と励ましの言葉があり3カ月間、互いに技能を高めあった仲間をたたえあいました。

福島「何ができるの?」 スマホとLINEを勉強

8月19日、福島建設ユニオンは福島市「市民会館301号室」で教習学習会を開催しました。

内容は「スマホとLINEの使い方」を学習する勉強会です。福島建設ユニオンの佐藤淳二教習部長は、「高齢組合員が増加し若年層組合員の拡充を目指すためにはスマホを有効的に利用した組合事業の宣伝が必要」と考えました。

そのためには「まずはスマホとLINEの使い方」を勉強したい」と県連合会に要請があり、この学習会を開催しました。

県連合会から竹谷常任執行委員長が講師として出席し、ITを用いた教宣活動、LINEの登録方法と使い方を中心に学習しました。

参加者間で「ユニオンスマホ学習会」と言うLINEグループを作成し、参加者同士でグループへ招待してあげる、文章を送ってみる、スタンプを送ってみる等、実技を交えて学習しました。このような学習をする機会が少ないためか、参加者は熱心にスマホを操作していました。

参加者は「グループラインを使えば支部の役員へ連絡が簡単になる」「写真を送るのが便利」「県連LINEの友達追加も分かった」と感想を述べました。今後の組合宣伝は機関紙やチラシ以外にIT分野を用いることが重要になってきます。スマホやパソコンを使った情報の発信と収集は仕事の確保に繋がります。まずは下のQRコードを読み取って、県連LINEを友達追加してみよう。



きれいなリースで優雅な気持ち

7月23日、全建総連会津市のフラワー教室「プチボヌール」から高橋絵里子先生を講師に招きました。参加者は先生が準備したアーティフィシャルフラワー(生花を忠実に再現した造花)からローズの花と葉、アジサイの花を選び、それぞれ茎3センチの所でカットしてワイヤリングしてテーピングをしました。初めての作業だったため、ワイヤリングが上手くいきませんが先生の手伝いもあり、2時間かけ飾りつけに使用する約25個全ての花の準備ができました。その後、リース全体にパランスよく、斜めにボンドをつけながら飾り付けし、

会津 エシガントな リースが完成

アスベスト対策 「二次診療」

職業病の早期発見に向けた「二次診療」を行います。対象の方には封書にて通知いたしますので、必ずお越しください。

日程/10月5日(土)
会場/大玉村「全建総連福島県連合会」
担当医/名取雄司 顧問医

全建総連福島 LINE

最新情報をあなたのスマホにお届けします!
今すぐ「友だち追加」をお願いします!